

1 事業内容

団体名	くしろ子育て応援フェスティバル実行委員会
事業名	くしろ子育て応援フェスティバル 2024
課題テーマ	若い世代を社会全体で支える
事業提案の背景	<p>子育て中に相談相手がいない親や、育児休業などで社会接点が少なくなる親は子育てについて悩むことが多く、孤独な子育て（孤育て）になりやすいことが社会問題として叫ばれています。釧路は転勤者も多く、主催者である伊藤も釧路に移住してきて、なかなかお母さん同士のつながりが作れずにいたことから、くしろ子育てネットワーク Haport を立ち上げました。その活動のひとつが「おさがり交換会」です。子どもが使わなくなった洋服やおもちゃなどの交換を通じて、子育てにかかるコストを抑えられるとともに、親同士の交流にもつながるイベントとして好評いただいていた。この「おさがり交換会」をより多くの方に参加いただけるイベントとして「くしろ子育て応援フェスティバル実行委員会」を結成しこれまでに2回開催してきました。今年は釧路市の交付金事業を活用し、より行政との連携を強化し、多くの釧路市民・子育て世帯の方に参加いただき、地域内で助け合いながら子育てができる繋がりづくりを実現したいと思います。</p>
事業目的	<p>使わなくなった子どもの洋服、おもちゃ、ベビーカー、チャイルドシート、絵本などを持ちより、売買ではなく交換するイベントです。おさがりの交換を通じて、使えるものを捨てるのではなく再利用するというお財布にも環境にも優しい仕組みづくりをするとともに、子育て世帯同士や地域の皆さまと助け合い支えあいができるつながりを作ることを目的としています。これはSDGsの「住み続けられる街づくりを」「つくる責任つかう責任」に通じる活動だと考えております。</p>
事業内容	<p>日時／2024年11月4日（月）10：00～15：00 場所／ウィンドヒルくしろスーパーアリーナ 内容／おさがり交換会をメインとし、釧路で子育てに関わる団体、企業にもご協力いただき、親子で楽しめる企画を盛り込み、子育てフェスティバルを開催。釧路短期大学の学生による子どもの遊び広場や釧路市環境事業課、環境保全課による出展、子どもの職業体験、企業ブースの出展など盛り込んだ。</p>

<p>事業展開</p>	<p>今年度は、釧路市輝くまちづくり交付金事業に採択され、東北 北海道スポーツコミュニケーション様との共催、釧路市からの人員 応援や、こども育成課の協力体制のおかげで今までにない形で開 催ができた。 子育てフェスのメイン「Haport おさがり広場」今年も満員御礼 でした！ イベントの参加者数は最終的に約 2,000 人と予想以上で混乱も ありました。</p>
<p>成果目標の達成状況</p>	<p>イベントを通じ子育て世帯と企業・行政との繋がるとこで、釧 路の子育て事情や、何が必要とされていて問題点は何かなど知 るきっかけになること。近年の価格高騰で家計が苦しい世帯が 多い中、おさがりの提供などで子育てに悩む親御さんの一助に なった。寒い時期は外遊びも難しくなってくるので、屋内でも 楽しめる場所を提供した。 来場者にアンケート（任意）を取りました。イベントへの満足 度の調査と、子育てに関するニーズの調査も行いました。次年 度はよりよいイベントになるように市民の声を参考にします。</p>
<p>波及効果の達成状況</p>	<p>参加者同士のネットワークができました。 またイベントが拡大・定例化することで、釧路での子育てをサ ポートする一機能として広く活用されるようになりました。 また、都市部ではこのような子育て世帯が集まるイベントには、 企業協賛や企業出展などがあるものも多く、くしろ子育て応援 フェスティバルもひとつの商業的なイベントへの発展になって きています。 実行委員会は、子育て中のボランティアママスタッフさんのサ ポートで成り立っています。今回のスタッフは、乳飲み子を抱 えたママが多数でした。子育てや仕事の合間に準備をしてきま した。年々、お仕事をしているママが多くなっていますので、 サポートスタッフも足りないのが現状です。子育てが落ち着いた 方やシニア層の居場所づくり・社会活動のひとつとして子育 てフェスが釧路市の多世代交流・共助イベントとして継続して いけるように努めます。</p>
<p>実施体制</p>	<p>くしろ子育て応援フェスティバル実行委員会 実行委員長 伊藤美也子 副実行委員長 畑谷菜摘 副実行委員長 江並雅美 会計事務 杉山美穂 監査 佐藤亜弓</p>

連携した市担当課	無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 （ こども保健部 こども育成課東部子育て支援拠点センターならびに環境事業課、環境保全課）
連携した市担当課が果たした役割 （※有の場合）	子育て支援センターにおさがり回収ボックスの設置。 環境事業課、保全課は当日のワークショップで出展し環境について、子育て世帯へ周知。

2 支出決算書と支出内訳

（収入）

費目	決算額（円）	内訳
輝くまちづくり交付金	300,000	
協賛金	220,000	17社
参加費	106,000	500円×212名（大人）子ども無料
自己資金	15,244	
合計	641,244	

（支出）

費目	決算額（円）	内訳
対象経費		
消耗品費	34,483	
役務費	144,405	広告料
使用料・賃借料	1,351	会場費など
委託料	55,000	ポスターデザイン料・保険料
印刷・製本費	176,150	
小計	411,389	
対象外経費		
飲食費	21,831	スタッフお弁当、飲み物など
景品代	111,307	抽選会の景品など
燃料費	5,000	おさがりの回収や運搬のガソリン代
被服費	17,617	スタッフのエプロン代
エコバッグ代	42,130	おさがりエコバッグ参加者へお渡し
謝礼	26,000	ボランティアスタッフ謝金
駐車場代	970	
撮影費	5,000	
小計	229,855	
合計	641,244	